

フィールド風

(現場)からの

宮田守男

4月中旬、長野市・一
兎舎で開催された、N
PO法人・信州地域社
会フォーラムが企画し
たコーヒートレイク自
由討論会に参加する。
今回のテーマは、

「10年間積み上げた、
上田ジョイントのレガ
シーをどう受け継ぐ
か」だ。

講師は、フォーラム
会員の白石英材さん。
昭和16年生まれの76
歳、ダンディな容姿と、
何時も学ぶ心を持ち続
け活き活きと人生を歩
んでいるためか、歳を
感じさせない。満州で
の生誕、終戦で父親は
シベリア抑留を余儀なく
されたが家族と共に帰
国、青年時代は三菱重
工で経理畑を過ごし、
オランダ駐在の経験を
有し、退職後も経験を
評価され他の職場で69
歳まで勤めた経験の持
ち主だ。

三男の白石才三さん

が、初当選した母袋上
田市長に企画提案した
イベントが認められ、
実質的なイベントの仕
掛け人として活躍した
経験から、イベントが
持つ、楽しさや課題を
報告。5月中旬開催さ

内最大規模の動員を
誇ったが、東日本大地
震災生での歌舞音曲自
粛での休止から以後再
開出来ない実情が語ら
れた。地域住民の騒音
苦情、協賛金募集の困
難さ。イベント時の事

的を明確に。地域で実
施すれば地域で得られ
るメリットを具体的に
提案する事。イベント
を継続する意味を理解
させる事。地域として
受け止め、自らが参画
して行動を起こすこと

イベント開催には、地域の 前向きな受け止め方が大切だ

れる信州飯綱東高原の
「天狗ロック・フェス
ティバル2017」の
課題を話し合う場と
なった。上田城址公園
都市型フリー野外フェ
スの「上田ジョイン
ト」。入場料無料で国

故防止。行政との意識
のずれ。ボランティア
の確保。会場内の風
紀・特に違法ドラック
への防止の困難さ。
イベント企画や運営
に関わった私の経験か
ら、うなずくものば
かりだ。イベントの目

が一番大切だと白石さ
んから、イベント開催
に求められる項目が報
告される。
全国各地で地域にお
しを目的に開催される
イベント。成功例の多
くは、開催の積み重ね
だ。新たなイベントの

開催に批判的な住民の
声が多い事も事実。だ
が人口減少社会の到
来は、多くの地域でお
互いの生活圏を奪い
あう時代でもある。
地域生き残りの為に、
自ら行動する社会に
勇気を抱きながら立
ち向かってほしい。
飯綱の活性を目的と

講師の白石さん。海外
での発電事業でも、夢
を追いつめる事業家で
もある。
.....
した今回の取り組み
が成功してほしいと
思っている。
(NPO法人信州地域
社会フォーラム理事・
白馬村森上)

